

船橋市社会科セミナー通信 第140号

5.11土 報告



勉強会会場はいつもの「プラウドタワー船橋」。
今回の出席者は、会場担当で事務局長の大野 肇先生(行徳高校へ異動)と野宮典子(若松中)・富澤眞也(大穴中)・千葉信也(宮本中：本年度長期研修生)・秋原翔(前原中)

五十嵐史子(あやこ・前原中)の各先生と会長の池田(異動：八木が谷中と宮本中で初任者指導)の**合計7名**。今回は嬉しいことに五十嵐史子(あやこ・前原中)先生が初参加してくれました。しかし残念ながら目標の10名には達することができませんでした。

1本目：自己評価カードの利用と活用

秋原 翔 先生(前原中)

昨年度の秋、前原中は市教研大会で「生徒の興味や関心を引き出す資料の選択と教材の開発～自己評価カードの利用と活用～」という研究主題で発表を行い参加者から好評を得ました。

秋原先生はこの発表をそれで終わらせずに少し改良を加えて今年度も継続して実践していることです。自分たちが発表したことをその場限りにせず修正改善して継続して実行していること自体が素晴らしいことですが、ありがたいことに今回はその第2弾実践の現状を本セミナーで報告してくれました。

大変興味深い内容でしたので、参加者から多くの声が寄せられました。

1 自己評価カードのやり方

毎時間の授業の終わりに、2～5分程度で、全員に、A5判の2分の1のカードに次の2項目を書かせて集めて判を押す

- ①今日の授業はよく分かりましたか→A・B・C
- ②わかったことや印象に残ったことを書いてみよう

2 自己評価カードの記入の実際

①はほとんどがAで、Cと記入した生徒はいなかった

②については、以下にほんの一部のみ紹介します

- ドイツがソ連との約束を破るなど、ここまでひどいことをしていたのにびっくりした。
- やっと今の日本よくなってきた。平和で自由ばい法律がたくさんあって、日本はどんどん日本人にとって幸せな国になっていくなあとと思った。
- イタイイタイ病の痛さが怖い。今はこういう病気がなくて良かった。
- 教科書で習わなかったことや習ったことを更に詳しく調べてどの班の発表も面白かった。
- 杉原千畝さんのすごさを知った。なんで教科書でもっと扱わないのか。
- キューバ危機の危なさが分かりやすかった。
- 最初「冷戦」という言葉を聞いて口げんかみたいなものかと思ったが大戦にならずに良かった
- もう歴史が終わるのは寂しいけれど、つぎの公民もがんばろう
- 契約を結ぶか結ばないかは自由とは知りませんでした。

3 自己評価カードをやってみて分かったこと

- (1) 個々の生徒がどんな教材や資料に興味・関心をもったか
- (2) 個々の生徒の理解状況や学習内容の定着度
- (3) 授業中の疑問点など

⇒秋原先生としては、これらを授業改善に生かす取り組みをしている最中とのことで、素晴らしい。

※セミナー参加者から出たこと。

- 毎回こつこつと取り組んで生徒の気持ちを授業改善に生かそうとしているのが素晴らしい。
- 市教研大会の発表後も継続しているのが素晴らしい。
- ほぼ全員がAなのは大変素晴らしいことだが、……。
- 「わかったこと」だけでなく、「よくわからなかったこと」「疑問に思ったこと」を書かせるようにしたい。

- その授業に対して、教師の知りたいことも口頭で尋ねるようにはできないか？
- 内容及び目的から言うと、「自己評価」というよりも「授業評価」に近いのではないか。

2本目：『日本型サービス・ラーニングの構想』を読んで

千葉信也 先生（宮本中、本年度長期研修生）

千葉信也先生は今年度は千葉県の長期研修生として活動しています。その中で理論研究のために、読んでいる本から、船橋社会科が昨年度の関ブロ大会等大変お世話になった、筑波大准教授の唐木清志先生の本『**子どもの社会参加と社会科教育～日本型サービス・ラーニングの構想**』を読んで、を報告してくれました。（この本は前に渡邊剛先生から報告していただいた時も参考資料となっていたように思います）

池 唐木先生の、関ブロ大会等でご指導いただく前の、2008年の著作なので、「社会参画」という言葉はまだ使われていないなどの点も加味して見ていく必要があると思います

1 子どもと社会参加

＜共生社会と市民社会は、市民一人一人の社会参加力が重要である＞

☆現代の子どもたちの「負(マッス)」の状況

① コミュニケーション能力が不十分である

[背景]

- ・異年齢集団との接触の機会の減少
- ・調べ学習でも地域に足を運ばずに、図書やネットで済ませる
- ・地域の人々との関わりの減少

② 規範意識が不十分である

例えば、自転車の違法駐輪が後を絶たない。

学校教育で、道徳教育や心の教育等の充実を図っているが、実践と結びつかない。

⇒①②を克服するためには、子どもに社会参加の経験をさせることが必要

2 知識・技能の「活用」と社会参加

(1) 「中教審」の「学力」に関する考え方

- ① 基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着
- ② ①を基礎としてそれらを実際に活用する力を重視
- ③ ②の力を基礎として実際に課題を探究する活動を行い、「自ら学び、自ら考える力」を高めることが必要

↓

[学習のサイクル] (図1)

習得→活用→探究 ※一方向ではなく相互に関連し合う

(2) 唐木案「社会科教育で社会参加を考慮した学習サイクル (図2)

[学習のサイクル[習得→活用1→探究]] (図1) →[活用2]

図1の学習で身についた学力を、現実社会で実際に活用

※[活用2]の授業例

模擬議会、仕組みられた形ではないボランティア、住民を招いて自分たちの意見を提案

3 サービス・ラーニングの重要性

(1) アメリカで1990年ころから、幼稚園から大学まで様々な教科領域で実践

唐木定義：「地域社会の課題解決を目指した社会的活動(サービス)に子どもを積極的に関与させ、子どもの市民性(シティズンシップ)を発達させることをねらいとした一つの教育方法」

(2) 「日本型サービス・ラーニング」を成立させるために唐木氏が提唱する5つの必要条件

① 地域社会の課題を教材化すること

違法駐輪、たばこのポイ捨てなど

② プロジェクト型の学習を組織すること

＜学習活動の例＞ごみの問題

- 1) 問題把握の段階…学校の周辺にどれくらいのごみが散乱しているか。事態の深刻さの理解
- 2) 問題分析の段階…どれくらいのごみがどこに散乱しているか。なぜそこになど、原因を追究
- 3) 意思決定の段階…課題解決の有効な方策の検討。既に実施されている公共政策の有効性や妥当性の検討。
- 4) 提案・参加の段階…自分たちの解決方法や公共政策案を行政職員や地域住民に提案する。地域住民と協働でごみ散乱撲滅キャンペーンに参加する、など。

③「ふりかえり」を重視すること

振り返りの4つの手法（読む、書く、為す、話す）

④学問的な知識・技能を習得、活用する場面を設定すること

社会学・歴史学・地理学・法学・政治学・経済学の知識や技能

⑤地域住民との協働を重視すること

「協力」でなくて「協働」

4 サービス・ラーニングの課題

紙面の関係で以下は省略

3本目:知っ得ニュース 15

池田義光

[1] 池上彰と考える、鳥インフルエンザ」2013.4.16放送をもとに

1 「鳥インフルエンザ」と「新型インフルエンザ」の違いは？

鳥から鳥または豚または人へ感染するインフルエンザが「鳥インフルエンザ」

人から人へ感染するインフルエンザで、今までに無かったものが「新型インフルエンザ」

2 「インフルエンザ」は「細菌」か「ウイルス」か？

3 インフルエンザウイルスの種類は何種類？

4 H7N9型とは何？

A型にH（ヘモアグルチニン）とN（ノイラミニターゼ）というタンパク質の突起

H（ヘモアグルチニン）の突起は16種類→H1～H16

N（ノイラミニターゼ）の突起は9種類→N1～N9

HとNの組み合わせは、 $16 \times 9 = 144$ なので、A型に144種類

B型とC型は1種類のみ→インフルエンザの合計は146種類

6 インフルエンザウイルスはどのようにして細胞内に入るのか？

細胞のレセプター（鍵穴）がウイルスの結合部位（鍵）を認識して細胞内に取り込む

7 今回の鳥インフルエンザがやっかいなのは？

A型144種類すべてのインフルエンザウイルスはカモなどの野鳥が保持しているが、病状は

極めて軽く無症状→今回の鳥インフルエンザも家禽などに感染してもほとんど無症状

9 新型インフルエンザが出現するプロセスは、2コース考えられる

①鳥インフルエンザが何かの変異で人に感染→人の体内で鳥インフルエンザが人インフルエンザと結合して新型インフルエンザに変異→人・人感染を起こす[新型と呼ぶ]

②豚は鳥インフルエンザと人インフルエンザの両方のレセプターを持っている

ある豚が鳥インフルエンザと人インフルエンザの両方に感染して両方が体内で合体して新型インフルエンザに変異→人に感染→人・人感染を起こす[新型と呼ぶ]

10 現在までの「人・人感染インフルエンザ」は？

現在までに人・人感染をしたのは歴史上4種類

1918～1919にスペイン風邪（全世界2～5億人感染し、2000万～4000万人死亡）

1968～1969に香港風邪（死者100万人以上）流行性感冒

1977～1978にソ連風邪

2009年のメキシコからのインフルエンザ

12 WHOのインフルエンザ対応段階（フェーズ3～6）では、今はフェーズ何？

[フェーズ3] 鳥→人感染を確認

[フェーズ4] 人→人感染が限定的

[フェーズ5] 人→人感染が大きな感染集団

[フェーズ6 = パンデミック] 世界の一般社会で急速に感染拡大

13 鳥インフルエンザの怖さとは？

1 野鳥がインフルエンザウイルスを運ぶことは分かっているが、野鳥はほぼ病気にならないので、感染源が不明で、鳥に対する対応がとりにくい

2 インフルエンザウイルスは非常に変異しやすい。何時人・人感染する新型に変わるか予想できない

3 致死率が高い。最も心配なのはH5N1型（強毒性、高病原性鳥インフルエンザ）が新型インフルエンザに変異すること（厚労省の予想では国内で64万人の死者？）

4 インフルエンザウイルスは増殖のスピードがものすごく速い。

1個が24時間後に100万個→48時間後に1兆個

早期に発見して早期にタミフルなどを飲まないで手遅れになる。しかし医者に行くのが早すぎるとウイルスが発見されないこともある。→38℃の熱が出て半日後程度がよい

14 インフルエンザの予防と免疫は？

(1) マスク、手洗い、うがい

くしゃみ→ウイルスを出そうとする働き

鼻水→ウイルスを出そうとする働き

発熱→ウイルスは高熱が嫌いで38℃～39℃で不活性化(死亡)する

しかし高齢者や幼児は解熱剤を飲ませた方がいい場合もある

(2) 免疫のしくみ…指名手配の写真と同じで、手配写真があれば闘う。ないと見逃す。病気にかかって一端指名手配の写真ができると次はすぐに闘おうとする

(3) 予防ワクチン

1) 鶏の有精卵にインフルエンザウイルスを注入して増やす

2) 毒性を弱め、感染力を弱める(約半年程時間がかかる)

※季節性のインフルエンザウイルスの流行はWHOが南半球の流行を見て予想する

15 抗インフルエンザウイルス薬にはどんなものが?

今回の鳥インフルエンザウイルスには「タミフル」が効くようだ

他に、リレンザ、イナビル、ラピアクタ

16 抗生物質は効かないのか?

(1) 抗生物質は、生き物である細菌の細胞をやっつける働きをする

(2) インフルエンザに抗生物質を出す医者がなぜいるのか?

患者や病状により、他の病気の恐れがある場合に

17 日本政府の新型インフルエンザ対策は?

「新型インフルエンザ対策特別措置法」を予定を前倒しにして4月13日から施行

国内で人人感染の恐れがあれば、政府が「緊急事態宣言」を出し、都道府県ごとに対応。

例えば、患者への入院勧告、外出の自粛呼びかけ、イベント類の中止、予防接種の実施など

18 経済への影響、売れるものと売れなくなるものにはどんなものが考えられるか?

○: ハンドソープ うがい薬 マスク タミフル 空気清浄機 宅配便

×: 旅行業界 風船 映画館やコンサートやイベントチケットなど

[3] その他

紙面の関係で2～5は省略

1 「日本国征服証明書」に抗議殺到とは?

(1) 新潟県(村上市)と山形県(鶴岡市)の県境に標高555mの山、「日本国」がある。

(2) 新潟県が4月下旬に、今年5月5日の山開きから、山の登頂記念に「日本国征服証明書」を発行すると発表すると、新潟県にメールや電話で45件の抗議が寄せられた。

(3) 新潟県は、地元と協議の上、5月5日の山開き当日の混乱を懸念して、「日本国登頂証明書」とすることに決定した。

(4) 山頂には約30年前から「日本国征服」の横断幕を掲げて来たが今までの所抗議はなかった。

6月セミナー予定 6月15日(土)

<勉強会>は、プラウドタワー船橋1階入口 **3時**集合

1. 知っ得ニュース(池田義光) 2. 生徒指導について(池田)

3. (報告者募集中!)

※終了後 船橋駅周辺で **6:30頃**から<懇親会>

⇒出欠席をできれば、2週間前までに池田宛てにお知らせください

出欠席の連絡は当方からの問い合わせの前にいただけると助かります。ikeyoshi.24@gmail.com

または chi-den...gikou_ikeyoshi@docomo.ne.jp



プラウドタワー(船橋北口)

お知らせ: 社会科セミナーのホームページができました 船橋市社会科セミナー、で検索ができるようになりました!

「次回の社会科セミナーのお知らせ」や「社会科セミナー通信のバックナンバー」「韓国見聞録やベトナム見聞録」も公開されておりますので是非ごらんください。

今後は、そのHP(ホームページ)から ikeyoshi.24@gmail.com 宛てに出欠席の返事をお願いします。